



第43回県高等学校PTA研究大会(島尻大会)開催

先月18日(土)、豊見城中央公民館を主会場に、県高等学校PTA研究大会島尻大会が開催されました。大会では、午前中に3つの分科会(第1:「健全育成とPTA活動」、第2:「家庭・地域とPTA活動」、第3:「進路指導とPTA活動」)において、それぞれ代表3校による実践報告等が行われ、各会場とも活発な質疑応答が交わされ、とても熱気溢れる分科会となりました。

午後からは公民館大ホールにおいて島尻地区で活躍する団体のIY(イ)のワークショップを皮切りに、「一生の仕事が見つかるディズニーの教え」と題し、東京ディズニーランド等を管理運営するリインクルメントで長年人材育成に携わってきた大住力氏による記念講演が行われました。彼はディズニーランドの創始者であるウォルトディズニー氏の研究会を立ち上げ、そのリーダーとして現場の士気向上に努めてきました。彼の教え(Disney's Lesson)の一つに「人間の成長は振り子のようなものである」があり、自分を振り返ることの大切さ「He lives in YOU.(答えは君の中にある)」と問いかけているのです。大住氏は現在、難病を患う子供とその家族への応援を目的とした公益社団法人(非営利組織)「難病の子供とその家族へ夢を」を設立し、代表を務めており、誰でも持っている「底力(リリキ)」を応援するべく幅広く活動しています。

その後全体会の中で、大会宣言決議や子ども達の「命を守る」為のアピール文を採択し大会を終了しました。特筆すべきは、本校PTA副会長の城間千賀子さんが県高校PTA連合会より、長年の活動実績が認められ個人の一部において表彰されました。
おめでとう! 拍手喝采!!



★ 師走 (しわす)

旧暦で12月のことを指す。語源は諸説あるが、師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」が主な語源。この説は、平安末期の「色葉字類抄(いろはじりいしょう)」に、「しはす」の注として説明されている。「師馳す」説は民間語源で、この説を元に「師走」の字が当てられたと考えられている。



★ 冬至 (とうじ)

北半球において太陽の位置が1年で最も低くなる日で、日照時間(昼の時間)が最も短い。(12月22日頃)冬至には「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めると言われ、かぼちゃ(南瓜なんきん)は風邪予防にも効果的でその時期によく食べられる。



★ 一陽来復 (いちようらいふく)

冬至は太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が蘇ってくることから、陰が極まり再び陽にかえるという意味の「一陽来復」といって冬至を境に運が向いてくる日(皆が上昇運に転じる日)とされている。



〜 時の言葉 〜

「話し合い、耳を傾け、承認し、
任せてやらねば人は育たず。」



山本 五十六 (やまと いそく) 1884~1943 : 新潟県出身
海軍軍人で、「真珠湾攻撃」や「ミッドウェイ海戦」を指揮した人物であるが、太平洋戦争に反対しながらも戦争を指揮主導した悲劇的な指揮官として知られている。彼の言葉や思想は格言としても人気が高い。

〜 English Maxim (名言) 〜

*"I'm not discouraged,
because every wrong attempt
is another step forward."*

「私は決して失望などしない。どんな失敗も新たな一歩となるからだ。」



Thomas Edison (トマス・エジソン) : 1847~1931 米国オハイオ州出身
発明家・起業家で発明王の名を持ち、生涯に1,300もの発明を行った。1877年蓄音機の実用化で名声を得、その後、研究所を設立し、電話や電灯照明等を商品化、電力の事業化にも成功した。

今年も「NAHAMARATHON」挑戦!

12月3日
(日)午前9時
第33回NAHAMARATHON
の号砲が鳴



り響いた。昨年5年ぶりに挑戦し中間地点で終了した悔しい思いをバネにしてバツに燃え走った。若い(?)頃は3時間後半で走れた時もあったが、年齢と共に完走が目標になり、今では体力と相談しながらの参加となっている。本校からも数名の職員が参加した。年末の風物詩にもなっているこのマラソンは、沿道の応援が途切れることがなく、ランナー達にとって魅力溢れる大会である。

いくつになっても自分の可能性に挑戦する機会を作り、それにトライする熱い気概を持ち続けたいものだ。 **Yes, I will!**

